

建設業社会貢献活動事例集

平成25年度

生活を守り
まちをささえる

建設業

一般社団法人 全国建設業協会
47都道府県建設業協会

はじめに

平成 25 年度のわが国経済は、デフレからの脱却と経済再生の実現に向け、新しい経済政策が打ち出されたことにより、雇用情勢も改善し、消費は好調を維持し、円安・株高傾向が継続したことにより、経済環境は大きく好転しました。

建設業界においても永年に亘る公共事業費の削減に歯止めがかかり、大型補正予算の執行や復興事業費の伸び等により、今までになく明るい兆しが見えております。

また、東日本大震災から早や 3 年が経過し、漸く本格復興に向けての動きが活発化しつつありますが、その後も、全国各地で台風、豪雨、竜巻、豪雪等の自然災害が頻発し、多くの尊い生命・財産が失われ、早急な防災減災対策の推進と計画的な社会資本整備の重要性が明らかになっています。

建設業界の使命は、社会資本整備の維持管理を通じ、国民の生活とわが国経済の発展に寄与するとともに、災害時の応急復旧対応により国民の安全・安心を確保することにあります。長年に亘る公共投資の削減と過剰供給構造による安値受注の頻発から、建設産業は大きく疲弊し、高齢化の進展と熟年技能者の離職等から技能の承継も懸念される状況に立ち至っています。

このため、国土交通省では若者の入職・定着を促し、現場技能者の処遇改善を図るため、公共工事設計労務単価を大幅に引き上げるなど、技能労働者への適切な賃金水準の確保と社会保険加入に向けた対策を促進されており、建設業界にも、雇用・労働環境の改善など速やかな対応が求められています。

このため、本会では、公共事業の必要性、計画的な社会基盤整備はもとより、地域の基幹産業として雇用の維持並びに災害復旧活動等に貢献している建設産業の正しい姿について、国民・社会から正しい理解が得られるよう、毎年 7 月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、国民・社会に広くアピールするとともに、公共事業への理解を深めるため、戦略的広報活動の推進にも力を入れた事業活動を展開しております。

本事例集は、本会が平成 25 年度に実施した「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」において顕彰した各建設業協会・支部並びに会員企業が行った優れた社会貢献活動を事例集として取りまとめたものであります。

本事例集が、地域建設業界の取り組んでいる社会的責任(CSR)と、国民生活の安全・安心の確保のため、災害発生時には危険を省みず、日夜奮励している地域建設業界の真摯な社会貢献活動をご理解いただくとともに、欧米諸国に比べて脆弱な我が国の社会基盤の計画的・継続的な整備の必要性を認識いただく一助となれば幸甚であります。

平成 26 年 3 月

一般社団法人 全国建設業協会

目 次

1. 建設業の社会貢献活動について	1
2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について	2
(1) 社会貢献活動優秀事例の顕彰と事例集について	2
(2) 中央行事の開催について	2
(3) 功労者表彰	4
3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —	6
3. 1 代表的な活動事例	6
(1) 巨大竜巻災害の復旧支援活動（茨城県建設業協会土浦支部）	6
(2) 熊本広域大水害の復旧支援活動（熊本県建設業協会阿蘇支部）	9
3. 2 協会・支部等の活動事例	12
(1) 災害復旧支援活動	13
(2) 防災支援活動	15
(3) 環境美化活動	17
(4) 社会福祉活動	19
(5) 建設業ふれあい活動	20
(6) 啓蒙活動	23
3. 3 会員企業の活動事例	26
(1) 災害復旧支援活動	27
(2) 防災支援活動	29
(3) 環境美化活動	30
(4) 環境保全活動	33
(5) 社会福祉活動	35
(6) 建設業ふれあい活動	37
(7) 啓蒙活動	39
4. 都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した活動	40
参考 「生活を守り まちをささえる建設業 Vol. 8」	65

1. 建設業の社会貢献活動について

近年、「企業の社会的責任」(CSR)が企業評価の重要な要素となり、各企業には株主、取引先、消費者、従業員など多様なステークホルダーに対して、様々な責任を果たすことが求められ、経済的利益の追求のみでなく、法令遵守、環境、社会貢献等の幅広い分野における企業の社会的責任を重視し、企業の持続的な発展を図ることが課題となっています。

このため、本会傘下の各建設業協会並びに会員企業は、厳しい経営環境下においても、雇用の維持、社会資本の整備・推進、維持管理はもとより、国民の安全・安心を守るため、地震、台風、豪雨などの災害時における応急復旧活動を始め、建設業の特性を活かしたボランティア活動等に積極的に取り組んでいます。

特に、東日本大震災発生時における地域建設企業は、建設業の果たすべき社会的使命を強く認識し、昼夜を徹しての人命救助・救援活動、道路確保・啓開作業、瓦礫処理活動等に懸命に取り組みました。

そのため、国民の建設業に対する認識が変わりつつありますが、わが国の脆弱な国土と自然条件の中で、昨年も多くの自然災害が頻発し、また、近い将来、南海トラフ連動の巨大地震等の発生が懸念されている中、災害時における地域建設業の役割と責務が見直されつつあります。

しかしながら、このような地域建設業界の果たしている様々な取り組みが報道される機会も少ないことから、本会では、戦略的な広報活動の推進を重点事業に掲げ、さまざまな活動を展開しておりますが、漸く災害対応や除雪活動の取組みがマスコミにおいて報道されるケースが見られるようになりましたが、未だ十分な理解は得られていない状況にあります。

このため、本会では、平成18年度に毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会と緊密な連携を図りつつ、建設業界として様々な社会貢献活動に取り組み、徐々に成果が得られつつあります。

本事例集の6頁以降には、平成25年に各都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した、地域社会と連携した様々な社会貢献活動事例を記載していますので、ご参照ください。



2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について

(1) 社会貢献活動優秀事例の顕彰と事例集について

本会では、7月の「建設業社会貢献活動推進月間」の活動の一環として、各地域で実践された様々な社会貢献活動について各都道府県建設業協会を通じて広く収集し、優れた活動事例については、全建表彰規程に基づき厳正な審査・選考を経て、中央行事において功労者表彰として顕彰を行っております。

平成25年度は、都道府県建設業協会・支部等を対象とした第3条関係で27事例、会員企業を対象とした第4条関係で32事例の計59事例が選ばれ、浅沼会長名の表彰状と記念品の額が贈呈されました。

本事例集は、本年度の中央行事において受賞された59事例の中から、当日、事例発表を行った茨城県建設業協会土浦支部つくば分会の「巨大竜巻災害の復旧支援活動」、熊本県建設業協会阿蘇支部の「熊本広域大水害の復旧支援活動」の2事例を始め、代表的な活動事例を第3条、第4条別に整理し、①災害復旧・防災支援活動、②環境美化・保全活動、③社会福祉活動、④建設業ふれあい活動等に分類し、紹介するものです。

(2) 中央行事の開催について

本会では、地域の基幹産業として、地域経済・雇用等の維持並びに災害復旧活動等に貢献している建設産業の正しい姿について、国民・社会からの理解・認識を醸成するため、毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定めるとともに、月間期間中に、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を国民・社会に広くアピールするため、毎年、中央行事を開催しております。本年度は、7月25日に東京・経団連会館において、第8回目の中央行事を開催いたしました。

中央行事では、浅沼会長の代理で挨拶した本間副会長より、「地元の建設企業は災害が起きればいち早く現場にかけつけ、被害を最小限に食い止め、地域住民の安全を守っている。これは地域の地形や実情を熟知しているからこそできる活動であり、建設業の重要な役割と魅力を社会に認識してもらうためにも、地域のための社会貢献活動の地道な取り組みを今後も継続していくことが重要だ」との開会挨拶に続き、来賓である国土交通省の日原建設流通政策審議官より、「本業とは離れた部分も含めてのご尽力に深く感謝している。中央行事を含め、建設産業の活動を世の中に知ってもらうことが重要だ」との祝辞が述べられました。

続いて、本年度の優れた社会貢献活動功労者の表彰式が行われ、当日、出席された建設業協会・支部、会員企業の受賞者に、本間副会長より表彰状と記念品が伝達されました。

また、受賞者の中から、優れた事例として、①茨城県建設業協会土浦支部つくば分会、②熊本県建設業協会阿蘇支部の2事例について事例発表が行われましたが、参加

者からは、地域住民の安全・安心を守る建設業ならではの優れた社会貢献活動に大きな関心と惜しめない賛辞がおくられました。

さらに、記念講演として、中小企業向け産業支援施設「富士市産業支援センターf-Biz」でセンター長を務めている小出 宗昭先生を講師に迎え、『中小企業を元気にする“切り札”がここにある』と題する講演会を開催するとともに、記念懇親会では、小出先生、受賞者を囲み、本会正副会長並びに各都道府県建設業協会会長と国土交通省幹部、関係団体幹部等が終始和やかに歓談し、午後7時過ぎ、盛会裡に散会しました。

本会が実施した本年度の中央行事の内容は、下記のとおりです。

行事名	平成 25 年度建設業社会貢献活動推進月間中央行事
日 時	平成 25 年 7 月 25 日 (木) 14:00~19:00
場 所	経団連会館 4 階ダイヤモンドルーム
内 容	<p>(1) 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会長挨拶 (一社)全国建設業協会会長 浅沼 健一 (代理・本間副会長) ・ 来賓ご挨拶 国土交通省建設流通政策審議官 日原 洋文 氏 <p>(2) 建設業社会貢献活動功労者表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> ①規定第 3 条関係 (協会・支部等) 功労者表彰 (27 協会・支部) ②規定第 4 条関係 (会員企業) 功労者表彰 (32 社) <p>(3) 建設業社会貢献活動事例発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「巨大竜巻災害の復旧支援活動」=茨城県建設業協会土浦支部つくば分会 ②「熊本広域大水害の復旧支援活動」=熊本県建設業協会阿蘇支部 <p>(4) 記念講演会</p> <p>『中小企業を元気にする“切り札”がここにある』</p> <p>講師：株式会社イドム代表取締役 小出 宗昭先生</p> <p>(5) 記念懇親会</p>
参加者	約 200 名 (国土交通省、都道府県建設業協会役員、建設関係団体及び一般関係者)



(3) 功労者表彰

「建設業社会貢献活動推進月間」において、次に掲げる協会・支部等（27 団体）及び会員企業（32 社）が、建設業社会貢献活動功労者として表彰されました。

○功労者表彰受賞者 — 協会・支部等（規程第3条関係） —

表彰分類	受賞者（協会・支部等）	都道府県
災害復旧支援活動	(一社)茨城県建設業協会 土浦支部つくば分会 (一社)京都府建設業協会 宇治支部 熊本県建設業協会 熊本支部 熊本県建設業協会 菊池支部 熊本県建設業協会 阿蘇支部 (一社)大分県建設業協会 中津支部 (一社)大分県建設業協会 日田支部 (一社)大分県建設業協会 竹田支部	茨城県 京都府 熊本県 熊本県 熊本県 大分県 大分県 大分県
防災支援活動	(一社)愛知県建設業協会 会長 増永 防夫 (一社)奈良建設業協会	愛知県 奈良県
環境美化活動	(一社)茨城県建設業協会 太田支部 (一社)長野県建設業協会 須坂支部 (一社)山口県建設業協会 下関支部 (一社)藤津建設業協会	茨城県 長野県 山口県 佐賀県
社会福祉活動	(一社)茨城県建設業協会 大子支部 (一社)群馬県建設業協会 桐生支部青年経営者部会 (一社)兵庫県建設業協会 明石支部 (一社)高知県建設業協会 嶺北支部	茨城県 群馬県 兵庫県 高知県
建設業ふれあい活動	(一社)群馬県建設業協会 太田支部青年経営者部会 (一社)長野県建設業協会 長野支部 (一社)加賀建設業協会 建築委員会 (一社)兵庫県建設業協会 尼崎支部青年部会	群馬県 長野県 石川県 兵庫県
啓蒙活動	(一社)空知建設業協会 岩手県建設業協会 遠野支部青年部会 (一社)神奈川県建設業協会 会長 小俣 務 (一社)神奈川県建設業協会 県央支部 (一社)奈良県建設業協会 会長 松本 良三	北海道 岩手県 神奈川県 神奈川県 奈良県

以上 27 協会・支部

○功勞者表彰受賞者 — 會員企業（規程第4條關係） —

表彰分類	受賞者（會員企業）	都道府県
災害復旧支援活動	(株)南建設 (株)高陽建設 (株)内田組	青森県 滋賀県 滋賀県
防災支援活動	(株)岸本組 (株)小池組 (株)山崎塗装店	北海道 新潟県 福井県
環境美化活動	勇建設(株) (株)遊佐組 (株)福萬組 日建工業(株) 秋田瀝青建設(株) (株)佐藤工務 (株)龍崎工務店 角屋工業(株) 薩摩建設(株) 安田建設工業(株)	北海道 北海道 青森県 宮城県 秋田県 山形県 茨城県 群馬県 鹿児島県 鹿児島県
環境保全活動	国策建設(株) 徳倉建設(株) 天野産業(株)	北海道 愛知県 岡山県
社会福祉活動	宮脇土建(株) 吉川建設(株) 伊藤工業(株) (株)森開発	北海道 青森県 秋田県 長崎県
建設業ふれあい活動	(株)石橋建設 釧石工業(株) (株)渡辺工務店 東海建設(株) 中部土木(株) (株)にしけん 大坪建設(株)	北海道 北海道 静岡県 愛知県 愛知県 兵庫県 長崎県
啓蒙活動	菱中建設(株) 苫小牧本店 矢作建設工業(株)	北海道 愛知県

以上 32 社